

## 学位論文審査の結果の要旨

Ngo Thu Ha

本研究は、ベトナムの伝統的農村共同体に今日まで脈々と受け継がれる平等原理が、公的な農村開発努力を補完すべき重要な市民社会資本たり得ることを明らかにした。制度経済学の理論及び経験的検討と、北部紅河デルタ灌漑稲作地帯での現地調査に基づき、著者は、今日も農村共同体が一体となって不作に備えていることを見出した。20世紀半ば以降、農業集団化と機械化推進ための交換分合が、農業生産性向上のため推進されてきたが、農村共同体はしばしば定期的に割変える分散錯圃での生産契約を選好した。急速な農業近代化政策に反するかに見える一方、洪水制御や灌漑施設整備が初歩的段階にある地方では、伝統的な土地資源再配分メカニズムが農民世帯の食糧と収入の保障に貢献してきた。したがって、今日のベトナムにおいて効果的な農地政策を実現するには、各地域特有の状況に沿って、対策の適切な組み合わせを行うための包括的アプローチが必要であるとの結論に至った。

本研究は、現地調査まとめの段階でコロナ禍に見舞われたため、途中で調査計画を変更ないし打ち切らざるを得ない事態に直面した。そのため審査会では、将来継続して実証的に取り組むべき諸課題も検討された。例えば、政策変更により市場経済が奥地僻村まで急速浸透しており、南北に細長く高低差の大きい国土の地形や気候、市場条件によって農業体系や作目が多様化し、世界市場に影響を与えるものも増えている。同時に、農地分配に限定されない農村の相互扶助の伝統も、変容を遂げつつある。ベトナム農業近代化の過程について、近隣諸国との類似点と特異点の比較も望まれる。しかし、今回の緊急事態下で、一定水準の検討と結論を得られたことは幸いであった。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。